

日本労働年鑑 第59集 1989年版  
The Labour Year Book of Japan 1989

第四部 労働組合と政治・社会運動

III 政党の動向

6 日本共産党

6 国際活動

代表団等の海外派遣

八八年一月一四～二五日、不破副議長を団長とする代表団が、インドとデンマークを訪問。

四月一八～二三日、日ソ両党継続定期協議のため、上田副委員長を団長とする代表団がソ連を訪問。この定期協議は三月につづくものとして、四月一八～二一日に開かれ、日本側は上田副委員長、ソ連側はドブリニン国際部長が団長を務めた。

五月一〇～一九日、荒堀広労働局長は引間博愛統一労組懇常任代表委員などとともに、労働問題の研究・交流のために英・仏・伊を訪問。

一〇月一六～二九日、緒方靖夫国際部長は国際円卓会議に出席するためユーゴスラヴィアを訪問した。

海外代表団の来日

八八年一月一四～二一日、日ソ両党定期協議のためにソ連共産党代表団来日。三月一五～一八日、第二回定期協議開催。日本側団長は不破副議長、ソ連側団長はアフアナシェフ中央委員・プラウダ編集長。この定期協議は、八四年一二月の共同声明にもとづくもので、八六年八月のモスクワでの会談以来二回目にあたる。

六月二八～三〇日、アンヨニオ・ルッピ国際部長を団長とするイタリア共産党代表団が来日。

【参考資料】〈日本社会党関係〉(1)日本社会党中央本部機関紙局『社会新報』、(2)同『月刊社会党』、(3)日本社会党政策審議会『政策資料』、(4)政策構想研究会『政構研レポート』、(6)社会党労働局『中央労対ニュース』、(6)社会党を支持し強める会『強める会情報』、(7)『日本社会党第五三回定期全国大会報告集』、(8)『日本社会党第五四回定期全国大会報告集』。

〈公明党関係〉(1)公明党機関紙局『公明新聞』、(3)同『公明』。

〈民社党関係〉(1)民社党本部『週刊民社』、(2)同『Kakushin』、(3)民社党政策審議会『政策と討論』、(4)『民社党第三三回全国大会』党務報告・資料、(5)『民社党第三四回全国大会』党務報告・資料。

〈共産党関係〉(1)日本共産党中央委員会『赤旗』、(2)同『理論政策』、(3)同『前衛』。

以上のほか、『総評第七九回定期大会各局報告書』、『朝日新聞』、『日経新聞』、『週刊労働ニュース』、『新聞月報』などを利用した。

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑第59集【目次】 次のページ→ ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---